



あべの

令和5年 3月号



ボランティア活動センターだより

日に日に暖かくなってきましたね。別れと出会いの季節ですが、いろいろな花が満開になるのが楽しみです。

更新しましょう

ボランティア保険のご案内

▷ボランティア活動保険

現在の活動保険の有効期限は3月末までです。切れ目なく更新していただくため、3月中の更新手続きをお願いします。この保険はボランティア活動中の万が一の事故に備えていただくものです。ボランティア活動をされる方は加入されることをお勧めします。

☆4月1日以降は、受付の社会福祉協議会で加入手続きが完了した翌日の午前0時から補償が始まります。

<変更点>

全てのプランで保険料は変わりませんが、補償内容が変更となります。



Aプランなら→

Aプラン	死亡	入院	通院	保険料
2022年度	1,500万円	5,500円	2,000円	300円
2023年度	1,200万円	5,500円	2,000円	300円

▷ボランティア行事保険

この保険は日本国内において「社会福祉協議会」が活動を把握し承認したボランティア・市民活動団体等が主催となる行事活動中のボランティアスタッフや参加者のケガおよび主催者が賠償責任を負った場合に備えて加入いただくものです。

☆実施予定日前日までにお申し込みください。

※詳細はあべのボランティア活動センターまで

令和5年度のボランティア保険が切れ目のないように注意してください！



祝ご報告



「サロン・あべの」厚生労働大臣表彰受賞！

厚生労働大臣賞は、福祉分野等のボランティアで長年活躍し、功績を残した人々に贈られる賞です。

今年で活動37年目を迎える「サロン・あべの」は、市内各所で展開されているサロン活動の先駆的存在。市内で初めてのボランティア・ビューロー（ボランティア・市民活動センターの前身）が阿倍野区に誕生した際、車いすでボランティアとして参加していた富田慶子さんを中心に、障がいがある人もない人も、お互い様で話ができる場づくりをめざして現在も活動されています。

今では「サロン活動」は各区で開催されていますが、阿倍野区での長きに渡る活動をされている、富田慶子さん並びにメンバーの方々に敬意を表したいと思います。

受賞、おめでとうございます。

おめでとう！



講座報告

こころの病をもつ人と共にボランティア養成講座

令和5年1月31日から2月28日の間で全4回の講座が開催されました。

1回目は、精神保健福祉総合研究所代表の田村先生の講義で、こころの病を正確に理解し、自分が持つイメージや情報が本当に正しかったのかを確認できました。

2回目は、日頃の暮らしや作業所での活動等を当事者から直接聞くことができ、「さらに理解を深めることができた」とのお声もありました。

3回目には、実際に作業所へ伺い、毎日の作業活動の体験や食事作り（見学のみ）にも参加させていただきました。最初は緊張もある中、しばらくするとあちらこちらで笑顔をみることができ、ご利用者とコミュニケーションをとることもできました。

最終日には、以前のこの講座への参加をきっかけにして「あべの不登校児・軽度発達障がい児支援グループ スペースゆう」を立ち上げた中室さんから、この講座で仲間と巡り会い現在に至るまでのお話をお聞きすることができました。

後半は、「私たちにもできること」をテーマに発表しそれぞれの意見を共有することで、「受講者間でのつながりを持つことができた」とうれしいお声を聴かせていただいています。

最後に修了書の授与で無事に全講座を締めくくることができました。

たくさんの方々にお世話になりましたことをここに感謝申し上げます。



こんな素敵なハガキが届きました。感謝！！